

2023年11月10日

格付投資情報センター（R&I）は以下の格付を公表しました。

水資源機構（証券コード：－）

【維持】

発行体格付：AA+ [安定的]

債券格付：AA+

【格付理由】

水資源機構は全国7水系（利根川、荒川、豊川、木曾川、淀川、吉野川、筑後川）で広範な利水・治水政策を執行する唯一の独立行政法人。大規模な自然災害や危機的な渇水など水資源を巡るリスクが顕在化するなか、政策上の重要性は極めて高く保たれている。格付は政府の信用力を強く反映し、日本ソブリンと同格としている。

政府は需要主導型の水資源開発の促進からリスク管理型の水の安定供給へ政策の重点を移しており、水資源開発基本計画（フルプラン）の抜本的な見直しを進めている。これまで吉野川、利根川、荒川、淀川の各水系のフルプランの全部変更を終え、2023年1月に筑後川水系のフルプランの全部変更を閣議決定した。国土審議会の水資源開発分科会調査企画部会は同年10月、「リスク管理型の水資源政策の深化・加速化について」の提言を公表。気候変動や災害、社会情勢の変化などを見据えた流域のあらゆる関係者による総合的な水のマネジメントの必要性を指摘した。水資源を巡る政策の重点がシフトするなか機構の存在感は一段と高まっている。ダムや用水路などの建設費用は国と利水者が負担する。利水者のほとんどは地方自治体で資金回収のリスクは小さい。財務収支の黒字が続き、利益剰余金が積み上がっており、財務基盤は良好だ。

【格付対象】

発行者：水資源機構

【維持】

名称	格付	格付の方向性		
発行体格付	AA+	安定的		
名称	発行額	発行日	償還日	格付
第18回水資源債券(サステナビリティボンド)	50億円	2020年12月18日	2023年12月20日	AA+
第19回水資源債券(サステナビリティボンド)	50億円	2021年12月20日	2024年12月20日	AA+
第20回水資源債券(サステナビリティボンド)	70億円	2022年12月20日	2025年12月19日	AA+

■お問合せ先：マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp

■報道関係のお問合せ先：経営企画室(広報担当) TEL. 03-6273-7273

株式会社 格付投資情報センター 〒101-0054東京都千代田区神田錦町三丁目22番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が発行する金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付（変更・取り下げ等を含む）に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧下さい。

信用格付に関わる事項

格付関係者	水資源機構
主任格付アナリスト	守屋 敦
信用格付を付与した日	2023年11月10日
主要な格付方法	政府系機関等の格付の考え方 [2022/12/26]
情報提供者	格付関係者

利用した主要な情報	決算書類、開示情報、格付関係者から入手した情報等
品質確保のための措置	公認会計士の監査済みである、またはそれに準じた信頼性が確保されている決算書類であること。一般に開示された、またはそれに準じた信頼性が確保されている情報であること。格付アナリストが妥当性を判断した情報であること。
格付方法の概要	次のウェブサイトにて上記格付方法及び考慮した他の格付方法をともに掲載しています。 https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating_method.html
評価の前提	次のウェブサイトの格付付与方針に掲載しています。 https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating_grant.html
格付符号と定義	次のウェブサイトに掲載しています。 https://www.r-i.co.jp/rating/about/definition.html

信用格付の前提、意義及び限界

R&Iの信用格付は、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性(信用力)に対するR&Iの意見です。R&Iは信用格付によって、個々の債務等の流動性リスク、市場価値リスク、価格変動リスク等、信用リスク以外のリスクについて、何ら意見を表明するものではありません。信用格付は、いかなる意味においても、現在・過去・将来の事実の表明ではありません。また、R&Iは、明示・黙示を問わず、提供する信用格付、又はその他の意見についての正確性、適時性、完全性、商品性、及び特定目的への適合性その他一切の事項について、いかなる保証もしていません。

R&Iは、信用格付を行うに際して用いた情報に対し、品質確保の措置を講じていますが、これらの情報の正確性等について独自に検証しているわけではありません。R&Iは、必要と判断した場合には、信用格付を変更することがあります。また、資料・情報の不足や、その他の状況により、信用格付を取り下げることがあります。

利息・配当の繰り延べ、元本の返済猶予、債務免除等の条項がある債務等の格付は、その蓋然性が高まったとR&Iが判断した場合、発行体格付又は保険金支払能力とのノッチ差を拡大することがあります。

一般に投資に当たって信用格付に過度に依存することが金融システムの混乱を引き起こす要因となり得ることが知られています。

信用格付の付与について代表して責任を有する者	丸山 博哉
信用格付業者登録番号	株式会社格付投資情報センター 金融庁長官(格付)第6号 直近一年以内に講じられた監督上の措置は、ありません。

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp

■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室(広報担当) TEL. 03-6273-7273

株式会社 格付投資情報センター 〒101-0054東京都千代田区神田錦町三丁目22番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性(信用力)に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っており、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付(変更・取り下げ等を含む)に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧下さい。